平成27年度　鎌ケ谷市事務事業評価表（事後）（標準評価表）

事務事業名	通学路整備事業	会計	款	項	目	多額経費
		一般	8	2	3	○
政策	13人間性豊かな子どもの育成環境をつくります	担当課室	道路河川整備課			
施策	133児童・生徒の健康と安全の確保	担当課室長	鎗田　淳			

Ⅰ　改革・改善内容（＝事務事業をより良く実施するための方策）

①前回の評価で掲げた内容	市道1号線の予備設計及び市道12号線の用地補償を推進する。	③平成27年度に取組む改革・改善内容	事業量を拡大するため、国の交付金の導入を積極的に図る。
②①に基づく取組み結果	市道1号線の予備設計及び市道12号線の用地補償を推進した。		

Ⅱ　事務事業の目的・概要

①目的	対象	小中学校の児童生徒及び通学路	意図（対象をどうするのか）	児童生徒が安全に登下校できるようにする。
②事務事業の概要	児童・生徒が安全に通学できるよう、歩道のない通学路に歩道を整備し、登下校における安全性の向上を図る。			
③環境分析（事業開始からの状況変化や今後の見込み・市民意向など）	通学路の拡幅や歩道確保をすることで、登下校時の通学路における児童生徒の安全を図る。			

Ⅲ　事務事業の成果やコストの状況

①平成26年度の事業の成果：市道１号線の予備設計と市道１２号線の用地取得を実施した。
（１）市道1号線予備設計委託（L=800m）、（２）市道12号線用地買収（A=319㎡）

②成果を表す指標

	指標名称	平成24年度	平成25年度	平成26年度	単位	算定根拠
i	学校災害件数の割合	7.1	6.5	6.1	%	業務取得
ii	事業費【平成24年度からの累計】	2,258	9,414	21,858	千円	決算書
iii	工事延長【累計】	0	0	0	m	業務取得

③事務事業のコスト

	平成25年度決算	平成26年度決算	平成26年度決算（事業費）の主な内訳 金額（千円）	内容	平成27年度予算
事業費（千円）	7,157	12,444			32,000
国支出金（千円）		1,760	3,348	市道1号線予備設計委託	13,200
県支出金（千円）			6,315	市道12号線用地買収	
市債その他（千円）					9,700
一般財源（千円）	7,157	10,684			9,100

Ⅳ　評価・検討

①課題（目的に対する現状など）：道路の拡幅等中長期的な時間を要する要望に対しては、まずは代替的な対策で対応せざるを得ない。

②評価

i 市関与の妥当性	3高い	iii 公平性	2普通	v 総合評価	7拡充
ii 有効性	3高い	iv 効率性	3高い		

③上記評価の理由：多数の地権者と交渉し用地補償・工事を進める必要性がある。

Ⅴ　多額の経費を要する事業等の「実施計画」における達成状況

①平成26年度の計画	市道1号線予備設計委託、用地買収、物件補償
②計画に対する事業実績	市道1号線予備設計委託、用地買収、物件補償
③達成状況	完了
④未完了・非着手の理由	

平成26年度事業費の状況（単位；千円）

計画事業費	予算額			決算額		
15,734	15,734	当初	11,205	12,444	H25からの繰越	
		H25⇒26繰越				
		補正	4,529		現年分	12,444
		流用・充当				
平成27年度への繰越額（単位；千円）						

平成27年度　鎌ケ谷市事務事業評価表（事後）（標準評価表）

事務事業名	通学路整備事業	会計	款	項	目	多額経費
		一般	10	5	1	○
政策	13人間性豊かな子どもの育成環境をつくります	担当課室	学校教育課			
施策	133児童・生徒の健康と安全の確保	担当課室長	市村昌子			

Ⅰ　改革・改善内容（＝事務事業をより良く実施するための方策）

①前回の評価で掲げた内容	学校からの通学路実態調査等を基に整備工事を行う。また、安全運転講習会などの啓発活動も積極的に取り組む。	③平成27年度に取組む改革・改善内容	26年度の通学路実態調査等を基に、環境整備工事を行う。さらに、安全運転講習会などの啓発活動にも取り組む。
②①に基づく取組み結果	26年度予定していた工事については完了。自転車安全運転講習会やスケアードストレイト自転車安全教室も予定どおり実施した。		

Ⅱ　事務事業の目的・概要

①目的	対象	小中学校の児童生徒及び通学路	意図（対象をどうするのか）	児童生徒が安全に登下校できるようにする。
②事務事業の概要	第二次通学路安全対策推進行動計画に基づき、安全施設の整備（グリーンベルトの設置、カラー舗装の設置、看板の設置等）などを行う。			
③環境分析（事業開始からの状況変化や今後の見込み・市民意向など）	ドライバーへの注意喚起や歩行者のための安全施設を設置することで、登下校時の通学路における児童生徒の安全を図る。			

Ⅲ　事務事業の成果やコストの状況

①平成26年度の事業の成果	スケアード・ストレイト自転車交通安全教室も中学校2校で実施。

②成果を表す指標

	指標名称	平成24年度	平成25年度	平成26年度	単位	算定根拠
i	学校災害件数	7.1	6.5	6.1	%	業務取得
ii						
iii						

③事務事業のコスト

	平成25年度決算	平成26年度決算	平成26年度決算（事業費）の主な内訳		平成27年度予算
事業費（千円）	30,747	19,965	金額（千円）	内容	15,000
国支出金（千円）	11,400		17,274	工事請負費	
県支出金（千円）			1,659	樹木剪定委託	
市債その他（千円）			561	スケアードストレイト自転車講習安全教室業務委託	
一般財源（千円）	19,347	19,965	371	青色パトロール関係	15,000

Ⅳ　評価・検討

①課題（目的に対する現状など）	信号設置や車歩道の拡幅、県道等中長期的時間を要する要望に対しては、代替的な対策で対応せざるを得ない。					
②評価	i 市関与の妥当性	3高い	iii 公平性	3高い	v 総合評価	6精査・検証
	ii 有効性	3高い	iv 効率性	3高い		
③上記評価の理由	新設や既設の補修など、随時要望箇所はあり、優先順位をつけて順次工事を行う必要があるため。					

Ⅴ　多額の経費を要する事業等の「実施計画」における達成状況

		平成26年度事業費の状況（単位；千円）					
①平成26年度の計画	通学路整備工事等	計画事業費	予算額			決算額	
②計画に対する事業実績	環境整備工事を始め、安全指導も行った。	20,572	20,572	当初	20,572	19,965	H25からの繰越
③達成状況	完了			H25⇒26繰越			
④未完了・非着手の理由				補正			現年分 19,965
				流用・充当			
		平成27年度への繰越額（単位；千円）					

平成27年度　鎌ケ谷市事務事業評価表（事後）（標準評価表）

事務事業名	児童生徒安全パトロール事業	会計	款	項	目	多額経費
		一般	10	5	1	○
政策	13人間性豊かな子どもの育成環境をつくります	担当課室	学校教育課			
施策	133児童・生徒の健康と安全の確保	担当課室長	市村昌子			

Ⅰ　改革・改善内容（＝事務事業をより良く実施するための方策）

①前回の評価で掲げた内容	実情に合った安全パトロールをするため、巡回箇所については引き続き学校等と協議していく。	③平成27年度に取組む改革・改善内容	実情に合った安全パトロールを実施する。学校等からの不審者情報にもすぐに対応。場合によっては、指定通学路に限らず、人気のない箇所も巡回していく。
②①に基づく取組み結果	要望に基づいて、中部小学区の巡廻箇所を一箇所追加。		

Ⅱ　事務事業の目的・概要

①目的	対象	小中学校の児童生徒	意図（対象をどうするのか）	児童生徒のために安全な地域環境の維持を図る。
②事務事業の概要	市内の通学路や公園等において、不審者等に対する警戒パトロール及び下校時の誘導を行う。			
③環境分析（事業開始からの状況変化や今後の見込み・市民意向など）	パトロールによる犯罪の抑止を目的とし、児童生徒の安全を図っていく。			

Ⅲ　事務事業の成果やコストの状況

①平成26年度の事業の成果	市内を4つのエリアに分け、平日13:00から18:30にかけてパトロール。また、7月と11月から12月の二期間にパトロール員を増員し、強化安全パトロールを行った。

②成果を表す指標		指標名称	平成24年度	平成25年度	平成26年度	単位	算定根拠
	i	学校災害件数の割合	7.1	6.5	6.1	%	業務取得
	ii						
	iii						

③事務事業のコスト	平成25年度決算	平成26年度決算	平成26年度決算（事業費）の主な内訳		平成27年度予算
事業費（千円）	12,054	15,955	金額（千円）	内容	17,849
国支出金（千円）			14,582	児童生徒安全パトロール	
県支出金（千円）	11,503		1,372	特別強化パトロール	
市債その他（千円）					
一般財源（千円）	551	15,955			17,849

Ⅳ　評価・検討

①課題（目的に対する現状など）	下校時間帯の不審者情報も見られ、学校や青少年センターともしっかり連携してパトロールする必要がある。					
②評価	i 市関与の妥当性	3高い	iii 公平性	3高い	v 総合評価	6精査・検証
	ii 有効性	3高い	iv 効率性	3高い		
③上記評価の理由	児童生徒の登下校時の安全を維持していく上で、継続的に行う事業であり、各関連機関と連携し、臨機応変に対応する必要があるため。					

Ⅴ　多額の経費を要する事業等の「実施計画」における達成状況

		平成26年度事業費の状況（単位；千円）					
		計画事業費	予算額			決算額	
①平成26年度の計画	児童生徒の安全確保のため、パトロールの実施。	17,849	17,849	当初	17,849	15,955	H25からの繰越
②計画に対する事業実績	巡廻箇所の追加、要望に対応した。			H25⇒26繰越			現年分 15,955
③達成状況	完了			補正			
④未完了・非着手の理由				流用・充当	−1,836		
		平成27年度への繰越額（単位；千円）					

平成27年度　鎌ケ谷市事務事業評価表（事後）（標準評価表）

事務事業名	学校給食運営に要する経費	会計	款	項	目	多額経費
		一般	10	5	3	
政策	13人間性豊かな子どもの育成環境をつくります	担当課室	学校教育課			
施策	133児童・生徒の健康と安全の確保	担当課室長	仲田　政樹			

Ⅰ　改革・改善内容（＝事務事業をより良く実施するための方策）

①前回の評価で掲げた内容	食物アレルギーに対応した給食を実施する。
②①に基づく取組み結果	食物アレルギーに対応した給食について、提供方針及びマニュアルを作成し、提供を開始した。
③平成27年度に取組む改革・改善内容	PFI事業契約に基づき、事業者と連携を密にし、安全安心な学校給食の提供を維持するとともに、学校給食センター施設の活用による食育の推進への取り組みを行う。

Ⅱ　事務事業の目的・概要

①目的	対象	市内小中学校の児童生徒	意図（対象をどうするのか）	健康増進を図る
②事務事業の概要	市内小中学校１４校に対し、安全で魅力ある学校給食を安定的に提供し、児童生徒の健康増進を図るとともに、食に対する理解を深める。			
③環境分析（事業開始からの状況変化や今後の見込み・市民意向など）	平成２６年４月に学校給食センターが新規開業したことに伴い、さらなる給食の充実・食育の取り組みへの要望がある。			

Ⅲ　事務事業の成果やコストの状況

①平成26年度の事業の成果

（１）平成２６年４月に新規開業し、市内小中学校１４校の児童生徒８４４１名（平成２６年５月１日現在）に対し、年間１８４日の学校給食を実施した。
（２）アレルギー対応食（除去食）の提供を２月より開始した。

②成果を表す指標

	指標名称	平成24年度	平成25年度	平成26年度	単位	算定根拠
i	給食実施日数	184	184	184	日	業務取得
ii	アレルギー対応食の提供人数			2	人	業務取得
iii						

③事務事業のコスト

	平成25年度決算	平成26年度決算	平成26年度決算（事業費）の主な内訳 金額（千円）	内容	平成27年度予算
事業費（千円）	560,960	843,608			854,300
国支出金（千円）			442,667	給食賄材料購入	
県支出金（千円）			63,520	センター施設購入	
市債その他（千円）			41,719	維持管理業務負担	
一般財源（千円）	560,960	843,608	286,686	運営業務負担	854,300

Ⅳ　評価・検討

①課題（目的に対する現状など）	食物アレルギーに対応した給食を実施する。					
②評価	ⅰ市関与の妥当性	3高い	ⅲ公平性	3高い	ⅴ総合評価	6精査・検証
	ⅱ有効性	3高い	ⅳ効率性	2普通		
③上記評価の理由	新学校給食センター開業後、アレルギー調理室を活用したアレルギー対応食の提供を開始することができたため。					

Ⅴ　多額の経費を要する事業等の「実施計画」における達成状況

		平成26年度事業費の状況（単位；千円）					
		計画事業費	予算額			決算額	
①平成26年度の計画			0	当初		0	H25からの繰越
②計画に対する事業実績				H25⇒26繰越			
③達成状況				補正			現年分
④未完了・非着手の理由				流用・充当			
		平成27年度への繰越額（単位；千円）					